令和5～7年度入学生教育課程表

教科	科目	学年	1年		2年					3年							
			クラス	選抜・進学	国士館大学進学	選抜・進学				国士館大学進学		選抜・進学				国士館大学進学	
						文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系	理系
標準単位数																	
国語	現代の国語	2	2	2													
	言語文化	2	2	2													
	論理国語	4			3	3	3		②		2	2	2			②	
	文学国語	4			2	2	2		②		3	3	3			②	
	国語表現	4															
	古典探究	4			3	3	3		2		2	2	2			2	
	受験国語演習*										1				(1)		
	理系国語*							2									
国語総合演習*		(1)														2	
国語合計		4	4	8	8	8	2	4	0	8	7	7	0	6	0		
地理歴史	地理総合	2	2	2													
	歴史総合	2	2	2													
	世界史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③		
公民	日本史探究	3			③	③	③		②		⑤	⑤	③		③		
	公共	2			2	2	2	2	2								
	政治・経済	2										(2)			(2)		
地歴公民合計		4	4	5	5	5	2	4	2	5	5	3	0	3	0		
数学	数学Ⅰ	3	3	3													
	数学Ⅱ	4			4	2	2	4		4		2	2				
	数学Ⅲ	3												(3)			
	数学A	2	2	2													
	数学B	2						2		2							
	数学C	2						2									
	理系受験数学*													4			
	受験数学演習*																2
	受験数学ⅠA*											(2)					
	受験数学ⅡBC*											(2)					
数学ⅠA演習*		(1)															
数学合計		5	5	4	2	2	8	0	6	0	2	2	4	0	2		
理科	科学と人間生活	2			2	2	2	2	2								
	物理基礎	2						2		2							
	物理	4											⑥		④		
	化学基礎	2	2						2								
	化学	4						3		2				3		3	
	生物基礎	2		2				2			(2)						
	生物	4											⑥		④		
理科演習*												(2)		(2)			
理科合計		2	2	2	2	2	7	2	6	0	0	0	9	0	7		
保健体育	体育	7～8	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	保健	2	1	1	1	1	1	1	1	1							
	武道*		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	保健体育合計		5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	
芸術	音楽Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②							
	音楽Ⅱ	2										②					
	美術Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②							
	美術Ⅱ	2										②					
	書道Ⅰ	2			②	②	②	②	②	②							
	書道Ⅱ	2											②				
芸術合計		0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	2	0	0	0		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3													
	英語コミュニケーションⅡ	4			5	4	4	4	4								
	英語コミュニケーションⅢ	4								5	4	4	5	4	4		
	論理・表現Ⅰ	2	2	2													
	論理・表現Ⅱ	2			3	2	2	3	2	2							
	論理・表現Ⅲ	2								3	2	2	3	2	2		
	英語演習*		(1)											(2)	(2)		
英語合計		5	5	8	6	6	8	6	6	8	6	6	8	6	6		
家庭	家庭基礎	2	2	2													
	家庭合計		2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報	情報Ⅰ	2	2						2	2							
	情報合計		2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	
小計		29	27	33	29	29	33	24	28	24	23	23	24	18	18		
総合的な探究の時間	3～6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	2	2		
合計		30	29	34	30	30	34	25	29	25	25	25	25	20	20		

特別活動 HR 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

○数字は選択必修科目 ()内は自由選択科目 *は学校設定科目

●3か年履修単位数

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修(日本史探究・世界史探究)は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

令和7年度 高等学校使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2,3年全文 2,3年定文選
	文学国語	東書	文学国語	2,3年全文 2,3年定文選
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2,3年文
	理系国語	東書	精選論理国語	2年全理
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2,3年文選
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2,3年文選
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	東書	政治・経済	3年選
数学	数学 I	啓林館	新編 数学 I	1年
	数学 A	啓林館	新編 数学 A	1年
		啓林館	数学 II	2年文 I, 全理
	数学 II	啓林館	新編 数学 II	2,3年文 II, III 2年定理
		啓林館	数学 B	2年全理
	数学 B	啓林館	新編 数学 B	2年定理
	数学 C	啓林館	数学 C	2年全理
		啓林館	新編 数学 C	3年定理
数学 III	啓林館	数学 III	3年全理選	
	啓林館	新編 数学 III	3年定理	
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年全 2年定理
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年定 2年全理 3年全文選
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2,3年理
	物理	啓林館	高等学校 総合物理 1、2	3年理選
	生物	東書	生物	3年理選
体育	保健体育	大修館	新高等保健体育	1,2年
芸術	音楽 I	教芸	MOUSA 1	2年選
	美術 I	日文	高校美術	2年選
	書道 I	東書	書道 I	2年選
	音楽 II	教芸	MOUSA 2	3年文 III 選
	美術 II	日文	高校生の美術 2	3年文 III 選
	書道 II	東書	書道 II	3年文 III 選
情報	情報 I	実教	図説情報 I	1年全 2年定
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーション I	啓林館	LANDMARK Fit English Communication I	1年1組 1年定
		啓林館	LANDMARK English Communication I	1年全
	論理・表現 I	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	1年
	英語コミュニケーション II	啓林館	LANDMARK Fit English Communication II	2年文 III 2年定
		啓林館	ELEMENT English Communication II	2年文 I, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication II	2年文 II
	論理・表現 II	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression II Hope	2年
	英語コミュニケーション III	啓林館	LANDMARK Fit English Communication III	3年文 III 3年定
		啓林館	ELEMENT English Communication III	3年文 I, 全理
		啓林館	LANDMARK English Communication III	3年文 II
	論理・表現 III	三省堂	MY WAY Logic and Expression III	3年文 III 3年定
三省堂		CROWN Logic and Expression III	3年文 I, II, 全理	

教科	国語	科目	現代の国語	授業 時数	週2時間	教材	高等学校現代の国語 (数研出版) 新版意味から学ぶ頻出漢字 3000(第一学習社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	評論【文化】山崎正和「水の東西」 評論【経済】梶井厚志『「わらしべ長者」の経済学』 漢字テストを数回実施する 第1回定期試験			・叙述をとらえ要旨を把握する。 ・対比の構造を理解し、本文を読み取る。 ・叙述をとらえ要旨を把握する。 ・接続語、指示語に着目し、本文を読み取る。				
夏 休 み		夏期休暇課題			・短歌、俳句 ・読書感想文				
前期	9月	・小論文(防災教育) 評論【言語】佐藤信夫「コインは円形か」			・小論文とはどのようなものかを理解する。 小論文の基本的構成のパターンを理解する。 ・災害にあったときどのような行動をするべきかを考える ・情報を関連付けて読み深める。 ・レトリックを味わう				
後期	10月～11月 12月	評論【言語】鈴木孝雄「ものとことば」 第2回定期試験 評論「ポストプライバシー」阪本俊生			・情報を関連付けて読み深める。 ・認識におけることばの役割をとらえる。 プライバシーに対する日本人の意識を読み取り理解する。				
冬 休 み									
後期	1月 2月 3月	評論【芸術】榎木野衣「絵を前に思いめぐらす」 評論【思想】鷲田清一「他者を理解すること」 漢字テストを数回実施する 第3回定期試験			・叙述をとらえ要旨を把握する。 ・繰り返し登場する語句を通して的確に読み取る ・叙述をとらえ要旨を把握する。 ・筆者の抽象的な意見を文脈に沿って正しく理解する。				
備考		第1回定期試験 範囲 評論【文化】山崎正和「水の東西」、評論【経済】梶井厚志『「わらしべ長者」の経済学』 第2回定期試験 範囲 評論【言語】佐藤信夫「コインは円形か」、評論【言語】鈴木孝雄「ものとことば」 第3回定期試験 範囲 評論【芸術】榎木野衣「絵を前に思いめぐらす」、評論【思想】鷲田清一「他者を理解すること」							

教科	国語	科目	言語文化	授業 時数		週2時間		教材	高等学校言語文化(数研出版) マドンナ古文単語(Gakken)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月～7月	ヤ行、ワ行の表記、品詞分類、用言の活用 古文知識(月の異名、十二支、時刻) 『宇治拾遺物語』児のそら寝 古文単語テストを数回実施する。 第一回定期試験			・歴史的仮名遣いなどの基礎知識を抑える。 ・用言の活用の種類、活用形を識別できる。 古文の知識をつける。 ・歴史的仮名遣いに注意して本文を音読できる。 ・登場人物の心の動きを捉える。						
夏 休 み											
前期	9月	現代文 小説『羅生門』芥川龍之介 (防災学習)			・本文の内容、展開を捉える。 ・物語世界を味わう。 ・災害の描写から、防災について考える。						
後期	10月～11月 12月	漢文 入門一、二 『朝三暮四』 古文単語テストを数回実施する。 第二回定期試験 「矛盾」			・訓読の方法を理解する。 ・書き下し文を正しく書くことが出来る。 本文の内容、展開をとらえ理解する。						
冬 休 み											
後期	1月 2月 3月	古文 『伊勢物語』芥川 現代文 小説『舟を編む』三浦しをん 古文単語テストを数回実施する。 第三回定期試験			・文語文法を理解する。 ・用言の復習を行う。 ・助動詞(過去、完了)の学習をする。 ・和歌の構造を理解する ・本文の内容、展開を捉える。 ・登場人物の心の動きを捉える。						
備考		「体系古典文法シリーズ」を適宜使用する。 第一回定期試験 範囲 古文知識／文法／「児のそら寝」 第二回定期試験 範囲 「羅生門」／漢文入門／「朝三暮四」 第三回定期試験 範囲 文法／「芥川」／「舟を編む」									

教科	国語	科目	国語演習	授業 時数		週1時間		教材	入試現代文へのアク セス(河合出版)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組～8組										
	時期	項目			到達目標						
前期	5月～7月	◆例題A～第二問 ・対比 ・具体例 ・言い換え 防災学習			・入試現代文に向け、「対比」、「具体例」、「言い換え」などの基本的な構造を理解する。 ・文章の読み方、問題の解き方について知識を身につける。 ・過去の災害記事などを参照し、小論文を書く。 ・災害に関する理解を深め、防災に対する意識を高める。						
		第一回定期試験			定期試験は授業内試験で実施						
夏 休 み											
前期	9月	◆第三問 ・問題演習			・ここまで学習した内容を振り返り、実践する。						
後 期	10月～12月	◆第四問～第六問 ・問題演習 第二回定期試験			・様々な問題を通して、「小説」や「評論」などの読解方法を身に付け、活用できる。 定期試験は授業内試験で実施						
		◆第七問～第八問			・概念的な主題を文章構造をもとに整理し、理解することができる。						
冬 休 み											
後 期	1月～3月	◆第九問～第十二問 ・問題演習 第三回定期試験			・分量の多い問題を取り扱い、実践的な読み方、問題の解き方を身に付ける。 ・全体の時間配分を意識して問題を解くことを意識する。 定期試験は授業内試験で実施						
備 考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★ 定期試験は最終回の一つ前の回で行い、学期の最後の授業で返却する										

教科	地理	科目	地理総合	授業 時数	週2時間	教材	高等学校 新地理総合 (帝国書院)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1章 生活文化の多様性と国際理解			<ul style="list-style-type: none"> ・オセアニアの特徴について理解する ・東南アジアの特徴について理解する ・世界の言語と宗教について理解する ・イスラム教について理解する ・ヒンドゥー教について理解する 				
		2節 世界の気候と人々の生活							
		乾燥した大陸と太平洋の島々での生活ーオセアニアー							
	5月	モンスーンの影響を受ける地域での生活ー東南アジアー							
		3節 世界の言語・宗教と人々の生活							
		世界の言語と宗教、人々の生活文化							
		(同上)							
	6月	イスラムと人々の生活の関わりー中央アジア・西アジア・北アフリカー							
		(同上)							
		ヒンドゥー教と人々の生活の関わりーインドー							
		(同上)							
	7月	第1回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)			試験範囲 P78～101				
夏 休 み									
前期	9月	防災学習①			・地理に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。				
		4節 歴史的背景と人々の生活			<ul style="list-style-type: none"> ・移民について理解する ・植民地について理解する 				
		移民の歴史と人々の生活の関わりーラテンアメリカー							
	植民地支配の歴史と人々の生活の関わりーサハラ以南アフリカー								
		(同上)			(同上)				
後期	10月	(同上)			(同上)				
		国家体制の変化と人々の生活の関わりーロシアー			・ロシアの特徴について理解する				
		5節 世界の産業と人々の生活			<ul style="list-style-type: none"> ・世界の農業と工業について理解する ・グローバル化する産業について理解する 				
	11月	人々の生活を支える農業、工業の発展							
	グローバル化する現代の産業と人々の生活								
		第2回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)			試験範囲 P102～125				
	12月	産業力が世界の生活文化に与える影響ーアメリカ合衆国ー			・アメリカの特徴について理解する				
		(同上)			(同上)				
冬 休 み									
後期	1月	防災学習②			・地理に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。				
		産業力が世界の生活文化に与える影響ーアメリカ合衆国ー			・アメリカの特徴について理解する				
	2月	経済成長による人々に生活の変化ー東アジアー			・東アジアの特徴について理解する				
	3月	地域統合が人々の生活や産業に与える影響ーヨーロッパー			・ヨーロッパの特徴について理解する				
		第3回定期試験 (試験範囲:上記単元項目)			試験範囲 P126～143				
春 休 み									

教科	地理・歴史	科目	歴史総合	授業 時数	週2時間	教材	歴史総合 近代から現代へ (山川出版社)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	18世紀の東アジアにおける社会と経済 貿易が結んだ世界と日本			中国で手工業や技術の発展がみられるなか、輸送網と金融システムの展開によって活発な取引がおこなわれていたことを理解する。 アジア域内貿易がどのようにおこなわれていたかを理解する。 産業革命がなぜイギリスから始まったのかを理解する。 欧米諸国が東アジアに勢力を拡大した理由と、開港場の増加や貿易制限の緩和など中国の外交政策の転換について理解する。				
		産業革命 中国の開港と日本の開国			アメリカ独立革命が1つの市民革命であったことを理解する。 明治維新後の日本が、外交交渉や国境の固定を通して、主権国家、国民国家の形成をめざしたことについて理解する。				
	5月	市民革命 国民国家とナショナリズム			日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などをとらえ、立憲体制と国民国家の形成について理解する。 産業革命の成功国との自由貿易にもともなう、日本の産業界の変容と再編の過程について理解する。				
		明治維新 日本の産業革命			欧米諸国による植民地化の背景や経緯について理解する。 産業革命の成功国との自由貿易にもともなう、日本の産業界の変容と再編の過程について理解する。				
	6月	帝国主義 変容する東アジアの国際秩序			日清戦争後の欧米列強や日本の勢力拡大に対する、清や朝鮮の政府や民衆の動向について理解する。 20世紀の国際関係の緊密化に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。				
		日露戦争と東アジアの変動 20世紀の国際関係の緊密化			アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 植民地の独立 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 生活様式の変化				
	7月	アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭 植民地の独立			大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 大正時代から昭和時代初期にかけての生活様式の変化に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。				
		第一次世界大戦の展開 ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭			第一次世界大戦と日本の関わりについて理解する。 ロシア革命の経過、および「土地に関する布告」「平和に関する布告」などからわかるボルシェヴィキ政権の性格を理解する。				
		ヴェルサイユ体制とワシントン体制 世界経済の変容と日本			ヴェルサイユ条約の内容(国際連盟の設立・ドイツの賠償)、およびその結果としてのドイツの状況について理解する。 第一次世界大戦直前の日本で、貿易赤字など国際収支の危機が続いた理由について理解する。				
		アジアのナショナリズム 大衆の政治参加			第一次世界大戦後に高揚した朝鮮半島や中国のナショナリズムのあり方やその相違点について理解する。 欧米諸国において、工業化の進展により労働運動や社会主義運動が広がり、第一次世界大戦を機に参政権が拡大したことについて理解する。				
		消費社会と大衆文化			アメリカ合衆国の大衆消費社会が、マスメディアを通して、生活や文化の平準化や画一化につながったことについて理解する。				
		第一回定期試験			18世紀の東アジアにおける社会と経済～消費社会と大衆文化				
夏 休 み		自宅学習			夏休みの課題				
前期	9月	世界恐慌の時代 ファシズムの伸長と共産主義			アメリカ合衆国で大恐慌が発生した原因と対策、および世界への波及について理解する。 第一次世界大戦後に高揚した朝鮮半島や中国のナショナリズムのあり方やその相違点について理解する。				
		日中戦争への道 第二次世界大戦の展開			中国国民党が南京国民政府を成立させた経緯と、国際社会、とくに日本や中国共産党との関係について理解する。 第二次世界大戦が、大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景とその情勢について理解する。				
		第二次世界大戦下の社会 国際連合と国際経済体制			第二次世界大戦が、大規模で凄惨かつ長期化した戦争となった背景とその情勢について理解する。 国際連合の特徴と課題を国際連盟と比較しながら理解する。				
		占領と戦後改革 冷戦の始まりと東アジア諸国の動向			占領と戦後改革について、ドイツと日本の事例を比較しながら、その特徴と展開を冷戦体制の文脈に位置づけて理解する。 冷戦のはじまりや核兵器保有に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。				
	日本の独立と日米安全保障条約 冷戦と国際関係			第二次世界大戦後の国際秩序と関連づけながら、日本の国際社会への復帰の経緯を理解する。 冷戦のはじまりや核兵器保有に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。					
	人と資本の移動 高度情報通信			移民を主とした人と資本の移動に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 情報の広がりが方々の規模や速度の変化に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。					
	後期	10月	日本と世界各国の比較防災史			日本と世界の災害の差異、及びそれにより、発達した防災の知見に関して、日本と世界を比較しそれぞれの特色を理解する			
食料と人口 資源・エネルギーと地球環境			食料問題と人口構成に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 資源・エネルギーと地球環境に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。						
11月		感染症 多様な人々の共存			感染症に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。 国民統合や他民族社会に関する諸資料をもとに問いを立てて、学習の見直しをもつ。				
		冷戦下の地域紛争と脱植民地化 東西両陣営の動向と1960年代の社会			冷戦が第二次世界大戦後に独立・建国した国々にとどのような影響をおよぼしたのかを理解する。 1960年代、人々は何をめざしてどのような運動を展開したのかについて理解する。				
		第二回定期試験			世界恐慌の時代～東西両陣営の動向と1960年代の社会				
12月	軍拡競争から緊張緩和へ 地域連携の形成と展開			米・ソを中心とする宇宙開発競争や核軍拡の展開について、キューバ危機と部分的核実験禁止条約を事例として理解する。 西ヨーロッパ統合の背景と歴史的な過程について理解する。					
	計画経済とその波及 日本の高度経済成長			第三世界がアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの社会をどのようにみていたのかについて理解する。 日本の高度経済成長の要因について、世界経済や日本の社会構造、および政治との関わりから理解する。					
冬 休 み		自宅学習			冬休みの課題				
後期	1月	アジアのなかの戦後日本 石油危機			東アジア・東南アジアの国々との戦後処理や、国交正常化の経緯や影響について理解する。 ドル・ショックの背景と内容、および影響について理解する。				
		アジア諸地域の経済発展			アジアNIESとASEANの成長と展開について理解する。				
	2月	市場開放と経済の自由化 情報技術革命とグローバルゼーション			新自由主義の特徴について、イギリスや日本の事例から理解する。 マイクロエレクトロニクス(ME)産業や情報技術(IT)革命とも呼ばれる情報通信技術の発展により、21世紀には高度情報化社会・知識基盤社会が到来したことを理解する。				
		冷戦の終結とソ連の崩壊 現代の東アジア			ソ連の改革と冷戦の終結について理解する。 中国で改革・開放路線が採用され急速な経済発展が進み、東アジアにおける地位が変化したことを理解する。				
3月	東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化			東南アジア諸国の民主化の経過、および日本のPKO活動について理解する。					
	地域統合の拡大と変容 地域統合の拡大と変容 現代と私たち			各地域統合の経済的特徴について理解する。					
		第三回定期試験			アジアの中の戦後日本～現代と私たち				
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	数学	科目	数学 I	授業 時数	週3時間	教材	啓林館 新編数学 I	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組									
時期	項目			到達目標						
前期	4月	第1章 数と式			<p>整式の整理の方法、整式の加法・減法について理解する。整式の乗法を公式を利用し効率よく展開できるようにする。乗法公式から因数分解の公式を理解し、因数分解ができるようにする。</p> <p>数の範囲を整数、有理数、実数へと拡張し、無理数、実数の意味とその性質を理解する。</p> <p>不等式の性質や不等式の解の意味・解法を理解し、1次関数を解けるようにする。</p> <p>関数の意味を理解し、2次関数のグラフのかき方と特徴を理解し、グラフをかけるようにする。</p> <p>2次関数のグラフを利用して、最大値・最小値を求めることができるようにする。</p>					
		第1節 整式								
	5月	第2節 実数								
		第3節 1次不等式								
	6月	第3章 2次関数								
	第1節 関数とグラフ									
	第2節 2次関数の最大・最小									
	7月	第1回定期試験								
夏 休 み										
前期	9月	第3節 2次関数と方程式・不等式			2次方程式のグラフとx軸との共有点のx座標が2次方程式の実数解であることを理解する。2次関数のグラフと2次不等式の解の関係を理解し、2次不等式を解けるようにする。					
後期	10月	第4章 図形と計量			<p>直角三角形における三角比の意味と三角比を利用した基本的な計量について理解する。</p> <p>座標を用いて三角比を定義し、角の範囲を0° から180° までの関係を理解する。</p> <p>三角形において3辺の長さや3つの角の大きさとの間に成り立つ基本的な関係(正弦定理と余弦定理)を理解し、それらを利用して、未知である辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。三角比を利用して、三角形、多角形の面積・立体の体積を求める方法を理解する。</p> <p>三角比の分野を用いて、防災に関連づけた内容を授業に取り入れる。</p> <p>データで使われる用語を理解し、箱ひげ図を作れるようにする。分散と標準偏差の意味を理解し求められるようにする。</p>					
		第1節 鋭角の三角比								
	11月	第2節 鈍角の三角比								
		第3節 図形と計量								
	第2回定期試験									
	12月	第5章 データの分析								
	第1節 データの整理と分析									
冬 休 み										
後期	1月	第2節 データの相関			2種類の変量について、散布図から相関関係をとらえることや、相関係数の求め方を理解する。変量の間の相関を調べることの意義と意味を理解する。統計的探究プロセスのモデルとしてPPDACサイクルなどで身の回りの問題を考える。					
		第3節 統計的な見方								
	2月	第2章 集合と命題								
	第1節 集合と命題			集合の表し方について基本的な考え方を理解する。命題とその逆、対偶の相互関係を理解する。						
3月	第3回定期試験									
春 休 み										

※選抜クラスは、Focus Gold Smartを併用する。

教科	数学	科目	数学A	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学A	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	序節 集合			集合の用語や記号の意味を理解し、いろいろな集合を表せるようする。また、集合の要素の個数を求められるようにする。				
	5月	第1章 場合の数と確率			場合の数の意味を理解し、和の法則・積の法則を利用して、場合の数を求められるようにする。				
		第1節 場合の数 第2節 順列・組合せ			順列の意味を理解し、いろいろな順列を求められるようにする。組合せの意味を理解し、組合せを求められるようにする。				
	6月	第3節 確率とその基本性質			試行と事象の意味を理解し、確率の定義を理解し、確率を求められるようにする。 順列や組合せの数をを用いた確率、確率の基本性質、余事象の確率を理解し、それらの確率を求められるようにする。				
7月	第1回定期試験			場合の数と確率の分野を用いて、防災に関連づけた内容を授業に取り入れる。					
夏 休 み									
前期	9月	第4節 いろいろな確率			試行が独立であるときの事象の確率を求められるようにする。反復試行の確率を求められるようにする。 条件付き確率を乗法定理を使って求められるようにする。				
後 期	10月	第2章 図形の性質			三角形の性質を理解・確認をし、三角形の重心・外心・内心を理解し、それらの性質を使って問題を解けるようにする。				
	11月	第1節 三角形の性質			チェバの定理とメネラウスの定理を利用した問題を解けるようにする。				
		第2節 円の性質 第3節 空間図形 第2回定期試験			円の性質について理解し、問題を解けるようにする。円と直線の関係を理解し、問題を解けるようにする。 立体の性質など空間における図形について理解する。多面体の面、辺、頂点、対角線についてを理解する。				
12月	第3章 数学と人間の活動 ユークリッドの互除法			ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求められるようにする。					
冬 休 み									
	1月	二元一次不定方程式			ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求められるようにする。				
	2月	倍数の判定 / 位取り記数法とn進法			整数や座標などと人間の活動との関わりについて数学的な見方を学ぶとともに、ゲームなどを通して数学と文化との関わりを知る。				
		座標 / 地球を測る 石取りゲーム / マスの敷き詰め							
3月	第3回定期試験								
春 休 み									

※選抜クラスは、Focus Gold Smartを併用する。

教科	数学	科目	数学 I A演習	授業 時数		週1時間		教材	啓林館 Focus Gold Smart 数学 I +A	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年選択者										
時期		項目				到達目標					
前期	5月	第1章 数と式 数学 I ・多項式の計算、因数分解 ・実数と式の値 ・1次不等式				Focus Gold Smart 数学 I +AのStep Upの問題を中心に扱い、標準・発展問題を解けるようにする。 授業の進度にあわせて扱う範囲を変える 試験は第1回定期試験期間の 前 に、授業内で行う。					
	6月	第2章 2次関数 数学 I ・2次関数のグラフ・2次関数の最大、最小 ・2次関数と方程式・不等式									
	7月	第6章 場合の数 数学A ・場合の数・順列・組合せ 第7章 確率 数学A ・確率の基本性質 定期試験									
夏休み											
前期	9月	第4章 図形と計量 数学 I ・三角比の定義、性質 ・正弦定理と余弦定理 ・図形の計量									
後期	10月	第8章 図形の性質 数学A ・三角形の性質				試験は第2回定期試験期間の 後 に、授業内で行う。					
	11月	・円の性質 ・作図 ・空間図形									
	12月	定期試験									
冬休み											
後期	1月	第3章 集合と命題 数学 I ・集合 ・命題と条件 ・命題と証明				試験は第3回定期試験期間の 前 に、授業内で行う。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。					
	2月	第5章 データ 数学 I ・データの整理と分析									
	3月	第9章 整数・数学と人間活動 数学A ・約数と倍数 ・整数の除法と余りによる分類 ・不定方程式 ・整数の性質の活用 ・数学とパズル・ゲーム 定期試験									
春休み											

教科	理科	科目	化学基礎	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	物質の成分と構成元素			物質を分類し、その成分の構成粒子について理解する。 分離精製について学ぶ。 原子の構造を理解し、各元素の化学的性質と分類方法を理解する。				
	5月	原子の構造と元素の周期表							
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>防災学習 「混合物の分離」において、各種分離操作を用いた「飲料水を確保する手法」について探究・実験を行う。 また、その他の各原理や物質が、身近な防災手段やグッズへ応用されていることを、單元ごとに都度触れ、興味・理解を深める。</p> </div>							
	6月	化学結合			イオンの生成とその反応式について、電荷の性質を理解し、組成式を表記できるようにする。				
7月	第1回定期試験								
夏休み									
前期	9月	化学結合			イオン結合、共有結合のしくみと性質を理解し、組成式、電子式、構造式を表記できるようにする。金属結合のしくみと性質について理解し、化学結合の違いから物質を分類できるようにする。				
後期	10月	原子量・分子量・式量			原子や分子の相対質量を理解させ、その質量、個数を扱う方法を理解する。				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>選抜クラス 語句の暗記にとどまらず、原理をとらえることに重点をおく。 そこから、知識、思考の連携、応用力を身につけ、共通テスト対応レベルを到達目標とする。 インプレスによる演習に加え、小テスト、共通テスト過去問にて習熟度を測る。</p> </div>							
	11月	物質量と化学反応式			物質の変化と原子の組み換えを理解する。化学反応を式で表記できるようにし、その量的関係を理解する。				
12月	第2回定期試験								
冬休み									
後期	1月	物質量と化学反応式(防災学習)			標準状態の気体を学び、空気の平均分子量から各種気体を考察し、危険を回避する力を付ける。				
	2月	酸と塩基 中和反応			酸と塩基の定義を理解し、その強弱をpHで表すことを学ぶ。 中和反応とその量的関係について理解する。 中和滴定の器具、操作について学ぶ。				
	3月	第3回定期試験							
春休み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組, 10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー			生物の分類と共通性を学び、細胞の構造と働きを理解する。 光合成のメカニズムと呼吸の過程について学び、エネルギーの流れを理解する。				
	5月	生物と遺伝子 遺伝情報の分配			遺伝子の本体についての研究とDNAの構造を理解する。 メンデルの法則から遺伝の法則・規則性を学ぶ。				
	6月	遺伝情報のとタンパク質の合成			フォークト、シュペーマンらの実験結果から、予定運命の決定、誘導の仕組みを理解する。				
	7月	体内環境 (防災時に受けた火傷や怪我の回復含む)			体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。 防災時、火傷や怪我をしてしまった場合、どのようなしくみで傷が回復するかについて理解する。				
		第1回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
夏 休 み									
前期	9月	体内環境を維持するしくみ			体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。				
後期	10月	体内環境を維持するしくみ			腎臓と肝臓のはたらきから、体内環境維持のメカニズムを学ぶ。				
	11月	免疫① 第2回定期試験			体内の免疫作用について学び、生体防御システムを理解する。 →授業進度により範囲の変更有り				
	12月	免疫②			神経系とホルモンのはたらきから、体内環境調節のメカニズムを学ぶ				
冬 休 み									
後期	1月	植生の多様性と遷移			植生分布の外観と分類について理解する。				
	2月	バイオームとその分布			世界中のバイオーム分布を知り、植生分布の種類を知る。				
	3月	生態系とその保全 第3回定期試験			人間活動が生態系にどのような影響を与えるかを学ぶ。 →授業進度により範囲の変更有り				
春 休 み									

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組(男子)								
	時期	項目	到達目標						
前 期	年天 間候 をな ど の 条 件 に よ り 内 容 を 施 行 内 容 が 変 わ る こ と も あ り 、 実 施 内 容 の 順 番 が 異 な り ま す 。	<p>【ガイダンス】</p> <p>【集団行動】</p> <p>挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。</p> <p>【体づくり運動】</p> <p><新体力テスト></p> <p>握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【ソフトボール】</p> <p>1) 基本的技能</p> <p>① 守備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) <p>② 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バットの握り方 ・バッティング <p>2) 発展的 skill (ゲーム形式による練習)</p> <p>① 守備練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 <p>② 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッティング(フリー) <p>③ 走塁</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた走塁 	<p>【防災教育】</p> <p>「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。</p> <p>集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻防を展開できるようにする。</p>						
後 期		<p>【バレーボール】</p> <p>1) 基本的技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ ・スパイク <p>2) 集団的 skill</p> <p>① 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) <p>② 防御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック <p>3) ゲーム形式による練習</p> <p>4) ゲーム</p> <p>【マット運動】</p> <p>1) 基本的な技の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回転系の技(前転、開脚前転、後転、開脚後転) ・支持系の技(倒立前転、後転倒立) ・転回系の技(側転、前方倒立回転) <p>2) 連続技と転回系の技の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続技の練習 <p>① 倒立前転～垂直ジャンプ半ひねり～後転～後転倒立</p> <p>② 側転～前方倒立回転</p> <p>3) 試験</p> <p>自分の意志で身体を自由に動かすことができる能力を身に付け、身体の特長部位を意識的に動かすことができるようにする。運動に移るための踏み切りとして、片足踏み切りと両足踏み切りの2つを習得する。また、習得した技を組み合わせさせた連続技がスムーズにできるようにする。</p>	<p>基本的な技能を身に付け、サーブレシーブからトス、スパイクを使った三段攻撃ができるようにする。また、ブロックやチャンスボールからの攻撃技能を身に付け、ゲームができるようにする。</p>						

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組～10組(女子)								
	時期	項目				到達目標			
前 期	年 間 候 な ど の 条 件 に よ り 内 容 を 実 施 行 い 容 が 変 わ る こ と も あ り ま す 。 実 施 内 容 の 順 番 が 異 な り ま す 。	<p>【ガイダンス】</p> <p>【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。</p> <p>【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【サッカー】</p> <p>1) 基本的技能 ①リフティングおよび各種のキック ②パス練習(グリッド内での3対1、4対2) ③ドリブル、シュートの練習</p> <p>2) 集団的技能 ①ミニゲーム(3対3、5対5の攻防) ②ミニゲーム(7対7の攻防) ③ゲーム・ルール</p>				<p>【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。</p> <p>集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>個人的な技能を身に付け、発展的に集団としての技能および戦術を習得する。また、同時にルールの理解も実施する。個人・チームの習熟度により作戦を立ててゲームができるようにする。</p>			
後 期		<p>【バスケットボール】</p> <p>1) 個人的技能 ①ドリブル各種 ②シュート各種 ③移動しながらのパス(対面パス)</p> <p>2) 集団的技能 ①アウトナンバーでの攻防(2対1、3対2) ②マンツーマンディフェンスでの攻防(3対3、5対5)</p> <p>3) ゲーム</p> <p>【マット運動】</p> <p>1) 基本的な技の練習 ・回転系の技(前転、開脚前転、後転、開脚後転) ・支持系の技(倒立前転) ・転回系の技(側転)</p> <p>2) 連続技と転回系の技の練習 ・連続技の練習 ①開脚前転～前転～垂直ジャンプ半ひねり～ 開脚後転～後転 ②倒立前転～側転</p> <p>3) 試験</p>				<p>個人的技能をもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。</p> <p>自分の意志で身体を自由に動かすことができる能力を身に付け、身体の特定位を意識的に動かすことができるようにする。 運動に移るための踏み切りとして、片足踏み切りと両足踏み切りの2つを習得する。 また、習得した技を組み合わせさせた連続技がスムーズにできるようにする。</p>			

教科	保健体育	科目	保健	授業 時数	週1時間	教材	新高等保健体育 (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
時期	項目				到達目標				
前期	4月	<ガイダンス> 第1章 現代社会と健康 1. 日本における健康課題の変遷 2. 健康の考え方と成り立ち			健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解する。 健康の考え方がどのように変化してきたのかを理解する。 健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。				
	5月	3. ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 第2章 安全な社会生活 3. 安全な社会の形成			ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 健康を保持・増進するための環境について理解する。 【防災教育】 安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。				
	6月	第1章 現代社会と健康 4. 健康に関する意思決定・行動選択 5. 現代における感染症の問題			健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。 感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。				
	7月	6. 感染症の予防 【第1回 定期試験】			感染症予防の三原則について理解する。 感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。				
	夏休み	レポート課題							
前期	9月	7. 性感染症・エイズとその予防			性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。				
後期	10月	8. 生活習慣病の予防と回復 9. 身体活動・運動と健康			生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。 身体活動・運動の関係について理解する。 身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。				
	11月	10. 食事と健康 11. 休養・睡眠と健康			食事と健康の関係について理解する。 健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 休養・睡眠と健康の関係について理解する。 適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。				
	12月	12. がんの予防と回復 【第2回 定期試験】 13. 喫煙と健康			がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 喫煙による健康への影響について理解する。 喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。				
	冬休み								
後期	1月	14. 飲酒と健康 15. 薬物乱用と健康			飲酒による健康への影響について理解する。 飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。				
	2月	16. 精神疾患の特徴 17. 精神疾患への対応			代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 精神疾患の発病、回復のポイントを理解する。 精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。				
	3月	【第3回 定期試験】							
春休み									

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週2時間	教材	柔道教本 (共栄出版)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組 (選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	《ガイドランス》(柔道・剣道合同) 授業内容、指導方法の説明 柔道・剣道の選択			柔道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である、礼に始まり礼に終わるなどから、礼儀正しく、他を思いやる心を養う。柔道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。全て安全最優先で行う。				
		柔道の基本(着衣・礼法・歴史)			礼法は正しく日常でも出来るようにする。				
	5月	受身の取り方(後・横・前)			全ての受身は、頭をつかないようになるまで行う。				
	6月	受身の取り方(前回り受身)			スムーズに回転して強く畳を叩くこと。				
	7月	試験			前回り受身を左右行う。				
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ				
		投げ技(大腰)			かかり練習(打ち込み) 受身の取り方を確実にする。 投げは、相手に配慮をして投げる。受は投げに投げやすく配慮する				
後期	10月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り)			どの方向に投げられても確実に受身をとれること。 投げは、相手に配慮をして投げる。				
	11月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り)			受は投げに投げやすく配慮する。				
	12月	試験			背負い投げ・相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。抑技のポイント、逃れ方を覚える。				
		固め技一抑技(袈裟固め・横四方固め・上四方固め) 立技、固め技の約束練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視 初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受身は正確にする)安全最優先で行わせる。				
		立技、固め技の自由練習(乱取り)			相手に配慮をして投げる。確実に受身を取れるようにする				
冬 休 み									
後期	1月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視する。				
	2月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。				
	3月	試験			体落とし・大外刈り 相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。				
春 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週2時間	教材	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組 (選択)							
	時期	項目			到達目標			
前期	4月	《ガイドンス》(柔道・剣道合同) 授業内容、指導方法の説明 柔道・剣道の選択 礼法・正座の正しい方法			剣道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しく他を思いやる心を養う。剣道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。			
	5月	剣道着の着装			体のサイズに合った剣道着を着る。			
		足捌き…送り足			前後左右の足の使い方から基本動作を身につける。			
	6月	竹刀の名称と注意			竹刀の名称を覚えるとともに竹刀の危険性と刀として、大切に扱うことから物を大事にする心を養う。			
構え			正しい姿勢・正しい竹刀の握り方を覚える。					
7月	素振り…面・小手・胴の三挙動			大きい動作で大きい声を出して行う。				
	試験 素振り…面・小手・胴一挙動、小片面二挙動 小片面三挙動 試験			足捌き 大きい動作で円滑に連続素振りができる様にする。小手と面の位置を明確にする。 素振り				
夏 休 み								
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ。			
		踏み込み足			姿勢が崩れない様に右足で踏み込み左足を蹴って引き付ける。			
後期	12月	打ち込み…元立ちを付けて行う 面・小手・胴の打ち込み			姿勢が崩れない様に声・打突・踏み込みを同時にし、気剣体一致の打ち込みができる様にする。			
		10月 防具のつけ方・しまい方			防具の説明。防具の正しいつけ方。最後まで丁寧に片付けをする。			
		11月 基本打ち…面 試験			気剣体一致の打ちを出来る様にする。元立ちを出来る様にする。			
冬 休 み								
後期	1月	切り返し			大きく正しく出来る様にする。切り返しによって、あらゆる基本動作を身につける。			
	2月	手拭いを用いた防災活用術			包帯や三角巾などの活用術を身につける。			
		基本打ち…面・小手・胴			正しい姿勢から大きく打ち込む。面・小手・胴打ちの違いを理解させ正しい体捌きを身につける。			
3月	試験			切り返し				
春 休 み								

教科	英語	科目	英語 コミュニケーション I	授業 時数	週 3 時間	教材	LANDMARK Fit I LANDMARK Fit I サブノート LANDMARK Fit I Workbook	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組								
	時期	項目		到達目標					
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!		不定詞(名詞・副詞的用法)、動名詞 *SVの語順への理解を深める。 *目標設定方法を学び、目的意識を持った高校生活の実現を目指す。					
	5月	Lesson 2 Curry Travel around the World		現在完了(継続・経験・完了)、受動態 *英語の時制を理解する。英語の文型の理解を目指す。 *食を通して文化は世界へ伝播し多様性を生むことを学ぶ。					
	6月	Lesson 3 School Uniforms		比較、分詞、主格の関係代名詞 *語形の変化、主格の関係詞の理解を目指す。 *衣服を通して多文化を学び、自分の意見を表現の仕方を学ぶ。					
	7月	第一回定期試験		◆ノートを取ること及び授業で配布されたプリントを保管することを習慣づける					
夏 休 み	7月	夏休みの課題		9月の授業内容の単語調べ					
	8月								
前期	9月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima		関係詞(what, why, where, when) *関係詞の理解を深める。環境に関する語を学ぶ。 *世界遺産と自然保護について考える。					
後 期	10月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog		不定詞意味上主語、間接疑問文、知覚動詞、使役動詞 *不定詞、間接疑問文、知覚・使役動詞を理解する。 *介助犬への理解を深め、現状を知り、問題点を考える。					
	11月	Lesson 6 Communication without Words		補語that節、対比while、形式目的語it、間接疑問文 *SVC、接続詞の使い方を理解する。形式目的語を学ぶ。 *非言語コミュニケーションの重要性を知り、身近な問題点を考える。多様な非言語コミュニケーションを通して異文化理解を深める。					
	12月	Lesson 7 Dear World: Bana's War		関係詞の非制限用法、分詞構文 *関係詞の非制限用法を理解する。分詞構文を読み取る。 *平和の尊さを学び、インターネットの可能性を探る。 ◆黒板を写すだけでなく、自分に必要な情報を取捨選択し、メモを取れるようにしていく。					
冬 休 み	12月	冬休みの課題		1月の授業内容の単語調べ					
	1月								
後 期	1月	Optional Lesson 2 Friendship over Time		一年間の文法総復習。2つの時間軸を読み取る。 ★[防災教育] 日本の台風災害に関する英文記事を読む *形式主語、知覚・使役動詞、関係詞、時制の理解を深める。 *両国間の歴史を通して国際協力関係について学ぶ。					
		★[英検受験] 過去問、スタディサプリENGLISH		★[防災教育] 災害時に役立つ英単語、英語表現を学ぶ。災害時に言語を選ばず他者を助けられる人物の育成を目指す。					
	2月	Optional Lesson 1 Space Elevator		仮定法過去、形式主語、副詞節のIf *仮定法過去、形式主語、副詞節中の動詞への理解を深める。 *科学技術がもたらす無限の可能性について思いをめぐらす。					
	3月	第三回定期試験		◆引き続き自分に必要な情報を取捨選択しメモを取れるようにしていくと共に、それを自分自身の活動に還元できるようにしていく。					
春 休 み									
備 考				副教材としてジーニアス英和辞典を授業で使用し、単語の調べ方を学ぶ。					
		防災学習		被災時の避難誘導などを英語にて表現する方法を学ぶ。					

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK English Communication I	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 文法: 動名詞/不定詞			<p><語彙> 朝テストにて週4実施 『でる順パス単英検2級』を1年間繰り返すことで確かな単語力を身に付け英語力の基礎を築く。</p>				
	5月	★GTEC 受検			<p><音声> 正しい音読を繰り返すことでリスニング力向上につなげていく。</p>				
	6月	Lesson 2 Curry Travels around the World 文法: 分詞の後置修飾/現在完了形			<p><英文読解> 前期: 初歩レベルの英文を数多く読み、英文を読むことに慣れる。 後期: 読解に必要な構文を含んだ英文を精読し、基礎力を育成する。</p>				
	7月	【第一回定期試験】 試験範囲: Lesson1・2			<p><リスニング> 「スタディサプリEnglish」を活用し、リスニング力および正しい発音を身につける。</p> <p>【前期の読解目標】 様々な教材を通して逐語訳から脱却し、語句のまとまりで英文を把握していけるようにする。</p>				
夏休み	7月	【選抜クラス夏期講習】			<p><夏休みの宿題> 教科書の予習、スタディサプリEnglish</p>				
	8月				<p><選抜クラス夏期講習> 既習事項の復習及び文法事項の先取り学習</p>				
前期	9月	Lesson 3 School Uniforms 文法: 受動態			<p>【自宅学習】 自宅学習の方法を示し、自ら学び考え、問題を克服する力を養成する。基礎学力、中学英語の徹底を個別に対応、自宅学習の習慣化を目標とする。</p>				
後期	10月	★GTEC 受検 Lesson 5 Bailey the Facility Dog 文法: 過去完了形 / SVO+to不定詞 使役動詞 / 不定詞の意味上の主語			<p>【後期の読解目標】 語句のまとまりで英文を把握し、逆戻りしながら読まない習慣をつける。パラグラフごとに内容にまとまりがあることを認識させ、接続詞や単語で先を推測しながら読む力を育む。</p>				
	11月	【第二回定期試験】 試験範囲: Lesson3・5			<p>【検定試験等】 ・英検…第3回で高1全員受検。高2までに全員準2級取得を目標とする。 ・GTEC…Benesseによる英語の四技能を測る検定試験。高1ではGRADE 3 (Primary Level/高校英語初級レベル)を目標とする。</p>				
	12月	Lesson 7 Dear World: Bana's War 文法: 関係詞の非制限用法							
冬休み	12月								
	1月								
後期	1月	★英検受検 英検対策にて、防災学習を行う。			<p>【その他の副教材】 ・『LANDMARK English Communication I サブノート』 ・『LANDMARK English Communication I WORKBOOK』 ・『Vision Quest 総合英語』(参考書/三年間使用) ・『スタディサプリEnglish』(タブレット教材/三年間使用) ・『Genius英和辞典 第6版』(タブレット辞書/三年間使用) ・『Genius和英辞典 第3版』(タブレット辞書/三年間使用)</p>				
	2月	Lesson 9 Space Elevator 文法: 仮定法過去/倍数表現							
	3月	【第三回定期試験】 試験範囲: Lesson7・9							
春休み	3月	【選抜クラス春期講習】			<p><選抜クラス春期講習> 1年間の総まとめ</p>				

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK E.C. I LANDMARK E.C. I サブノート LANDMARK E.C. I WORKBOOK ジーニアス英和辞典・和英辞典 Vision Quest 総合英語	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年3組～8組								
時期	項目		到達目標						
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 文法:不定詞/動名詞	参考書の使い方を学ぶ。ノートの取り方、メモの取り方を学ぶ。SVの語順、基本的な不定詞、動名詞の使い方を復習する。						
	5月	Lesson 2 Curry Travels around the World 文法:分詞の後置修飾/現在完了形	参考書の使い方を学ぶ。授業中に情報を取捨選択し、メモを取ることを意識する。基本的な分詞の使い方、英語の時制、英語の文型を理解する。						
	6月		試験範囲: Lesson1・2						
	7月								
夏休み	8月	<夏休みの宿題>							
前期	9月	Lesson 3 School Uniforms 文法:受動態	自分に必要な情報の取捨選択をし、メモを取ることを習慣づける。基本的な受動態の使い方、助動詞+受動態を理解する。						
後期	10月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog 文法:SVO + to do/使役動詞/ 不定詞の意味上の主語	学習スタイルの確立を目指す。語のまとまりで読む。SVO + to do、知覚・使役動詞、不定詞の意味上の主語を理解する。						
	11月		試験範囲: Lesson3・5						
	12月	Lesson 7 Dear World: Bana's War 文法:関係詞の非制限用法	語のまとまりで英文を理解する。基本的な関係詞、関係詞の非制限用法を理解し、制限用法との違いも理解する。						
冬休み		<冬休みの宿題>							
後期	1月	★英検受検 受験級別に対策に取り組む	中学での取得級より一つ上を、未取得生徒は3級以上の合格を目指す。						
	2月	Lesson 9 Space Elevator 文法:仮定法過去/倍数表現	自学自習スタイルを確立する。基本的な時制、仮定法過去、基数、倍数表現を理解する。						
	3月	★[防災教育] 日本の台風災害に関する英文記事を読む	★[防災教育] 災害時に役立つ英単語、英語表現を学ぶ。災害時に言語を選ばず他者を助けられる人物の育成を目指す。						
		試験範囲: Lesson7・9							
春休み		<春休みの課題>							

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK Fit English communication I	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組～10組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!			不定詞(名詞的用法・副詞的用法)、動名詞 *SVの語順への理解を深める。 *目標設定方法を学び、目的意識を持った高校生活の実現を目指す。				
	5月	Lesson 2 Curry Travels around the World			現在完了(継続・経験・完了)、受動態 *英語の時制を理解する。英語の文型の理解を目指す。 *食を通して文化は世界へ伝播し多様性を生むことを学ぶ。				
	6月	Lesson 3 School Uniforms			比較、分詞、主格の関係代名詞 *語形の変化、主格の関係詞の理解を目指す。 *衣服を通して多文化を学び、自分の意見を表現の仕方を学ぶ。				
	7月	第1回定期試験							
夏休み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			中学英語、高1英語導入部の復習				
前期	9月	Disaster Prevention			防災に関する語彙を使い、ペアまたはグループで災害時の行動マニュアルを作成する。				
		Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima			関係代名詞、関係副詞 *世界遺産に関して学び、自然環境について考える				
後期	10月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog			不定詞意味上主語、間接疑問文、知覚、使役動詞 *介助犬への理解を深め、現状を知り、問題点を考える。				
	11月	Lesson 6 Communication without Words			補語that節、対比while、形式目的語it、間接疑問文 *多様な非言語コミュニケーションを通して異文化理解を深める。				
	12月	第2回定期試験							
冬休み	12月	<冬休みの課題>			既習事項の復習、英語検定対策				
後期	1月	Lesson 7 Dear World: Bana's War			関係詞の非制限用法、分詞構文 *平和の尊さを学び、インターネットの可能性を探る。				
	2月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere			比較、過去完了形、仮定法 *教育について考え、自分ができる社会貢献の可能性を探る。				
	3月	第3回定期試験							
春休み		*副教材として以下の教材を用いる。 LANDMARK Fit サブノート、 Workbook							

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数	週2時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.			・文の種類 ・応答/理由を述べる				
	5月	Lesson 2 Do you want to join our show?			・文型と動詞 ・賛成・反対する/聞き直す				
	6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.			・時制 ・激励する・励ます・計画する・予定する				
	7月	【第一回定期試験】							
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			・中学英語、高1英語導入部の復習 ・苦手分野の克服 ・発展学習				
前期	9月	Lesson 4 Have you ever tried it before?			・完了形 ・経験を尋ねる/初めての経験を述べる				
後 期	10月	Lesson 5 What do you want to do after high school?			・助動詞 ・許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する				
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?			・受動態 ・原因・影響・喜び・驚きを表す				
	12月	【第二回定期試験】							
冬 休 み	1月	<冬休みの課題>			・苦手分野の克服 ・既習範囲の復習 ・発展学習				
後 期		英検対策(特にWriting)			※Writingで防災についての題材を扱う				
		Lesson 7 I'm happy to have you with us.			・不定詞 ・感謝・謝罪・弁解する				
	2月	Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way.			・動名詞 ・誘う・申し出る・推薦する ・分詞 ・描写する・根拠を述べる				
	【第三回定期試験】								
春 休 み	3月				【副教材】 ・高校リード問題集 英文法A ・Vision Quest 総合英語 3rd Edition				

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数		週2時間		教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組										
	時期	項目		到達目標							
前期	4月	Lesson 1	I want to introduce my new friend.	<p><語彙> 朝テストにて週4実施</p> <p>1) 英語の基礎力徹底、特にドリルによる文法力の育成</p> <p>2) 日本語にはない英語らしい表現法を知り、自らの考えや情報を発信</p> <p>3) 学習習慣を身に付け、進学準備への基礎体力を作る</p> <p>【各課別到達目標—(文法/表現/機能/発音)】</p> <p>・文の種類/応答/理由を述べる</p> <p>・文型と動詞/賛成・反対する/聞き直す</p> <p>・時制/激励する・励ます・計画する・予定する</p>							
	5月	Lesson 2	Do you want to join our show?								
	6月	Lesson 3	I'm planning a day trip this weekend.								
	7月	【第一回定期試験】									
夏 休 み	8月	【選抜クラス夏期講習】 <夏休みの課題・夏期講習>		既習事項の復習及び文法事項の先取り学習 スタディサプリEnglish							
前期	9月	Lesson 4	Have you ever tried it before?	【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】 ・完了形/経験を尋ねる/初めての経験を述べる							
	10月	Lesson 5	What do you want to do after high school?	【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】 ・助動詞/許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する							
後期	11月	Lesson 6	Did you hear about the new shop?	・受動態/原因・影響・喜び・驚きを表す							
		【第二回定期試験】		試験範囲: Lesson 4～6							
	12月	Lesson 7	I'm happy to have you with us.	・不定詞/感謝・謝罪・弁解する							
冬 休 み	12月 1月										
後期	1月	★英検受検 英検対策にて、防災学習を行う。		【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】							
	2月	Lesson 8	What sport do you like playing?	・動名詞/誘う・申し出る・推薦する							
		【第三回定期試験】		試験範囲: Lesson 7～8							
春 休 み	3月	【選抜クラス春期講習】 1年間の総まとめ		【副教材】 ・高校リード問題集 英文法A ・Vision Quest 総合英語 3rd Edition							

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数	週2時間	教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression 1	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年3組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1			・文の種類				
	5月	I want to introduce my new friend.			・応答/理由を述べる				
	6月	Lesson 2 Do you want to join our show?			・文型と動詞				
	7月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.			・賛成・反対する/聞き直す ・時制 ・激励する・励ます・計画する・予定する				
		【第一回定期試験】			試験範囲: Lesson 1～3				
夏休み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			・中学英語、高1英語導入部の復習 ・苦手分野の克服 ・発展学習				
前期	9月	防災学習			※災害避難時の英語アナウンス				
		Lesson 4 Have you ever tried it before?			・完了形 ・経験を尋ねる/初めての経験を述べる				
後期	10月	Lesson 5 What do you want to do after high school?			・助動詞 ・許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する				
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?			・受動態 ・原因・影響・喜び・驚きを表す				
	12月	Lesson 7 I'm happy to have you with us.			・不定詞 ・感謝・謝罪・弁解する				
冬休み	12月	<冬休みの課題>			・苦手分野の克服				
	1月				・既習範囲の復習 ・発展学習				
後期	1月	★英検受検							
	2月	Lesson 8 What sport do you like playing?			・動名詞 ・誘う・申し出る・推薦する				
		【第三回定期試験】			試験範囲: Lesson 7～8				
春休み	3月				【副教材】 ・高校リード問題集 英文法A ・Vision Quest 総合英語 3rd Edition				

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数		週2時間	教材	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組～10組									
時期		項目				到達目標				
前期	4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.				中学校の既習内容を復習しながら進める。单元ごとに小テストを行い、着実に基礎を固める。 ・文の種類 応答/理由を述べる				
	5月	Lesson 2 Do you want to join our show?				・文型と動詞 賛成・反対する/聞き直す				
	6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.				・時制 激励する・励ます・計画する・予定する				
	7月	第1回定期試験								
夏休み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>				中学英語、高1英語導入部の復習				
前期	9月	Disaster Prevention				防災についての英文を読み、災害に対する考えを深める。グループで災害時の行動について話し合う。				
		Lesson 4 Have you ever tried it before?				・完了形 経験を尋ねる/初めての経験を述べる				
後期	10月	Lesson 5 What I want to do after high school				・助動詞 / 回想・自省する				
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?				・受動態 / 原因・影響・喜び・驚きを表す				
	12月	第2回定期試験								
冬休み	12月	<冬休みの課題>				苦手分野の克服				
後期	1月	英検受検				・不定詞 感謝・謝罪・弁解する				
	2月	Lesson 7 I'm happy to have you with us.				・動名詞 誘う・申し出る・推薦する				
	3月	Lesson 8 What sport do you like playing? 第3回定期試験								
春休み	3月					※副教材として以下の教材も使用する。 ・高校リード問題集 英文法A ・Vision Quest 総合英語 3rd Edition				

教科	英語	科目	高1講座	授業 時数		週1時間		教材	英語総合問題集 Wonderland [3rd Edition] 3・4	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年選択者										
時期	項目		到達目標								
前期	5月	UNIT 1 環境 (トライアル) UNIT 2 生物 (トライアル) UNIT 3 文化	<p>長文から情報を正確に素早く読み取るため、パラグラフを意識しながら要旨を把握する「要約力」と「速読力」を養う。</p> <p>人文・社会・自然とさまざまなジャンルの英文に触れ、文法や語彙だけではなく、長文から基礎知識を学ぶことで、科目を超えた横断的な学びへと広げる。</p> <p>試験範囲: Unit1～6</p>								
	6月	UNIT 4 職業 UNIT 5 起源 UNIT 6 物語									
	7月	【第一回定期試験】									
夏休み											
前期	9月	UNIT 7 Eメール UNIT 8 物語(速読) UNIT 9 社会 UNIT 10 生物	<p>長文を構造的に読解できるよう、「つなぎ言葉」や「言い換え表現」などを学び、読解の基礎知識を習得する。</p>								
後期	10月	UNIT 11 歴史 UNIT 12 工業 UNIT 13 物語 UNIT 14 生物	<p>定期試験は試験期間の前に授業内にて実施 第1回 6/28(土)予定 第2回 11/22(土)予定 第3回 2/28(土)予定</p> <p>試験範囲: Unit7～15</p>								
	11月	UNIT 15 植物(速読) UNIT 1 心理(以降 4を使用)									
	12月	【第二回定期試験】 UNIT 2 文化									
冬休み											
後期	1月	★英検対策にて、防災学習を行う UNIT 3 宇宙 UNIT 4 文化	<p>試験範囲: Unit1～7</p>								
	2月	UNIT 5 語源 UNIT 6 教育 UNIT 7 人体									
	3月	【第三回定期試験】									

教科	家庭	科目	家庭基礎	授業 時数	週2時間	教材	実教出版 家基705	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～10組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4 5	第1章 これからの人生について考えてみよう ①自分の未来予想図を描こう ②これからの人生をデザインする			・今の自分を自己分析し、こんにちの社会背景を踏まえ具体的に生活設計することができる ・自己理解や自立を通して青年期をどのように生きるか考えることができる				
	6	第2章 自分らしい生き方と家族 ①自立と共生 ②ライフキャリア ③共に生きる家族 ④家族に関する法律			・婚姻、夫婦、親子、相続など家族に関する基本的法律を理解する。民法改正案について触れ社会の取り巻く環境を考えることができる				
	7	第3章 子どもとかわる ①子どもとは ②子どもの発達 ③子どもの生活 ④子どもをはぐくむ			・生命の誕生とそれを育む親の役割の重要性を理解することができる ・乳幼児の体の発達、発育、生理的特徴を理解することができる				
		第6章 食生活をつくる ①日本の食文化の形成 第1回定期試験			・日本の行事食などの食文化を理解することができる				
夏休み									
前期	9	②私たちの食生活 ③栄養と食品のかかわり 調理実習①			・食を取り巻く現状について把握させるとともに、望ましい食習慣を理解することができる ・五大栄養素について知識を深め、健康と食事の重要性を理解することができる ・基礎的な技術を取得することができる				
	10 11 12	④食品の選び方と安全 第7章 衣生活をつくる ①人と衣服のかかわり ②衣服の素材の種類と特徴 ③衣服の選択から管理まで 調理実習② 第8章 住生活をつくる ①人間と住まい ②住まいの文化 ③住まいを計画する 第2回定期試験 ⑤安全な住まい			・添加物や食中毒の知識を深め、実生活に活かすことができる ・衣服の生理的機能、社会的機能、素材や性質を解し、衣生活を管理することができる ・取り扱い表示や汚れの落ちる仕組みを理解し、素材に適した手入れができる ・時間内に効率よく調理することができる ・日本独特の生活様式や住まいの機能を理解することができる ・災害への備えを学習し、理解することができる				
冬休み									
後期	1	第9章 消費行動を考える ①消費行動と意思決定 ②消費生活の現状と課題 ③消費者の権利と責任			・契約に関して理解し、様々な販売方法があることを理解することができる				
	2	第10章 経済的に自立する ①暮らしと経済 ②将来のライフプランニング 第3回定期試験			・契約に関する法律を学び、問題商法を未然に防ぐための知識を深め、早期解決の方法を理解することができる ・家計の構造を学び、適切な家計管理を考えることができる				

教科	情報	科目	情報 I	授業 時数	週2時間	教材	図説情報 I (実教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・情報社会と私たち:教科書・序章(p4～p9) ・Word使い方 			<ul style="list-style-type: none"> ・これから学ぶ情報の重要性について理解する。情報の持つ特性から情報の正しい扱い方を理解する。 ・Wordを用いて文字入力の仕組みと方法を理解させ、文字の配置やフォント、サイズ、種類の変更罫線の引き方やその体裁の整い方などを説明し、十分に練習する。 				
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会と問題解決:教科書・第1章(p12～p38) ・Excel使い方 			<ul style="list-style-type: none"> ・情報を適切に収集、分析し問題解決に役立てることができる。自分の持っている情報の重要性や知的財産権等の権利について理解する。 ・Excelを用いてわかりやすい表の作成方法を身に着ける。関数を用いた自動計算の方法を身に着ける。 				
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションと情報デザイン:教科書・第2章(p40～p64) ・PowerPoint使い方 			<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの特性について理解し、メディアリテラシーを身に着ける。情報デザインについて理解し、効率的な情報伝達の手法を身に着ける。 ・PowerPointを用いて自分の考えを効率的に伝える手法を身に着ける。 				
	7月	第1回定期試験:教科書・序章～第2章、実技							
夏 休 み	8月								
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報とコンピュータ:教科書・第3章(p66～p94) 			<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデータの表現手法を理解する。2進数について理解する。PCの構造について理解する 				
後期	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムとプログラム:教科書・第4章(p96～p113) ・Scratch(プログラミング) 			<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基本構造について理解し、問題解決に役立てる手法を身に着ける。プログラミングの基本について理解する。 ・プログラミングの基本的な構造や手法を身に着ける。 				
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化とデータ活用:教科書・第5章(p116～p140) ・Scratch(プログラミング) 第2回定期試験:教科書・第3章～第5章、実技			<ul style="list-style-type: none"> ・モデル、シミュレーションの目的と手法を身に着ける。より高度なデータの収集と分析の手法を身に着ける。 ・Scratchでのゲーム制作を通して、より高度な論理的思考力を身に着ける。 				
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・Scratch(プログラミング) 			<ul style="list-style-type: none"> ・配列、リスト、関数、繰り返し処理、条件分岐について理解する。 				
冬 休 み	1月								
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークと情報システム:教科書・第6章(p142～p164) ・Python(プログラミング) 			<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの構造やインターネットについて理解し、情報通信の仕組みについて理解する。情報セキュリティについて理解し、正しくネットを扱う手法を身に着ける。 ・Scratchで行ったことをPythonで再現し、プログラミングについてより理解する。 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習 			<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のネット利用について知識を深める。 				
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル&セキュリティp84～p88 ・Python(プログラミング) 			<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における情報のモラルやマナーについて理解する。 ・日常生活に存在する様々な事柄をプログラムにすることを通じてプログラミングについての知識をより深める。 				
	3月	第3回定期試験:教科書・第6章、情報モラル&セキュリティp84～p88、実技							
春 休 み									